

**令和4年度  
自己評価報告書**

令和5年3月31日

**学校法人 城西学園  
城西放射線技術専門学校**

- ・学則第4条に基づき自らの運営状況について自己点検・評価を実施した。  
本校の教育活動の状況を自ら点検・評価し改善点を今後の教育活動に活かすことを目的とし、毎年実施するものとする。
- ・評価の結果、改善を要する項目は学校長の改善指示のもと担当者は速やかに対応し、改善状況を学校長へ報告するものとする。
- ・評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」を基に4段階評価（4：大変良い 3：良い 2：あまり良くない 1：良くない）とした。

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

本校は現在地にて昭和 35 年 4 月 1 日付、城西レントゲン技術専門学校として発足

昭和 46 年 4 月 1 日付、城西放射線技術専門学校と名称変更

昭和 51 年 6 月 1 日付、私立専修学校として認可

診療放射線学科のみの夜間課程単科校であり、修業年限は 4 年である。診療放射線技師養成校として現代医療に求められる知識と技術の習得、信頼される人間性を養うということを教育の柱としている。

(1)入学時から一貫して国家資格取得が教育目標。

(2)城西学園校訓に「報恩感謝」を掲げており、恩や恵みに対して感謝の気持ちを持つことをいう。

これまでに受けた恩や恵みに感謝し病んだ人を思いやり医療人として恩に報いる、奉仕の精神を持つ医療人の育成教育を目標としている。

(3)本校の入学受入れ方針は以下の通りである。

- ・ 専門学校で学ぶことに対して確かな目的意識を持ち、学ぶ姿勢を大切にする方
- ・ 社会人としての自覚を持ち、職場や学校での言動、身だしなみについて礼儀や常識を心得ている方  
また、そのことについて学ぶ姿勢を持つ方
- ・ 心身ともに健康な方で、公私に関わらず、他者への思いやりを持っている方
- ・ 医療の現場はチーム医療が重要であり、コミュニケーション能力・連帯感を常に意識している方
- ・ 医療および医療技術に関心を持ち、適正があると考えている方

(4)職業教育を行う上では、病院等と連携した授業・実習が不可欠である。

学内における授業に加えて、学外での関連企業の工場見学、病院見学等を通じて専門性を養い、早い段階から医療現場における診療放射線技師の在り方を考える機会を与えている。

### 【課題・改善策】

- ・ 教育目標とそれに向けた教育活動は開学から一貫しているが、教育活動についてはコロナウイルス感染の影響や働く学生の勤務形態が変化しているため状況に合わせて都度検討していく必要がある。
- ・ 単科校の専門学校としてのメリットを活かしつつ、学校法人城西学園として、日本医療科学大学の姉妹校と連携した教育環境を提供できるよう長期計画を構築していく

|   | 評価項目                               | 評価 |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められている             | 4  |
| 2 | 教育理念・教育目標・育成人材像は専門分野におけるニーズに伴っているか | 4  |
| 3 | 理念達成に向けた教育活動を行っている                 | 4  |
| 4 | 教育理念・教育目標が周知されている                  | 4  |

## 基準2 学校運営

- (1)原則、隔週実施される全員参加の職員会議では教職員が議題を発案・内容発表。会議後は議事録を作成し、次回会議の冒頭で前回の議事録の実施状況確認している。
- (2)城西学園理事会・評議委員会において本校の職員は評議員・事務局として出席し、事業計画や運営方針などの決定事項を職員会議にて報告し、教職員全員へ周知徹底している。
- (3)期初に教務部、事務部の「業務分担表」を作成している。単科校の専門学校としてのメリットを活かしつつ、学校法人城西学園として、日本医療科学大学の姉妹校と連携した教育環境を提供できるよう長期計画を構築していく。授業に関しては、カリキュラムに基づいた「授業時間割表」を前期・後期作成し、教育活動への運営責任を明確にしている。
- (4)育児休業、メンタルヘルス等、新たに追加しなければならない規則の増加に伴い、就業規則の変更を行った。
- (5)学校法人城西学園（中学・高等学校、専門学校）として規程や運営については連携をとっており、教職員がクラウドシステム利用により情報の共有化を図っている。

### 【課題・改善策】

- ・授業もiPadで受ける学生が多くなっており、ネットワーク設備を強化する必要がある。
- ・人事・給与に関しては適宜見直し、職場環境に適しているか確認を行う。
- ・コロナウイルス感染症の位置付けが引き下げられたが、様々な感染症拡大を防止する観点からもオンライン授業への対応が可能になるよう、城西学園として中学・高校と併せてネットワーク環境を強化する必要がある。

|   | 評価項目                               | 評価 |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | 目的に合った運営方針が策定されている                 | 3  |
| 2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されている               | 3  |
| 3 | 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能している | 3  |
| 4 | 人事、給与に関する規定等は整備されている               | 3  |
| 5 | 組織整備など意思決定システムが整備されている             | 3  |
| 6 | 教育活動に関する情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている  | 3  |

## 基準3 教育活動

### 目標の設定

- (1)本校のカリキュラムは国家試験合格を柱としたものであり、目標達成に向け十分な内容で体系的に構成されている。各科目の教育目標はシラバスに明記し、授業初日にも学生へ改めて周知している。
- (2)学生より専任教員・非常勤講師の授業評価のアンケートを無記名で実施し、教育の質を高めている。その結果をフィードバックし各教員には授業の改善点等の提出を依頼。学生の意見を考慮した授業改善に活用している。
- (3)成績評価・単位認定の基準は「学生便覧」に記載しており、入学時のガイダンスにて周知している。また、進級判定・卒業判定は、教員全員が参加。進級判定会議・卒業判定会議にて規定に基づき行われている。
- (4)本校にて編集した実力・模擬・総合試験問題集を全教員、3・4年生に配布し、授業と自習に役立っている。
- (5)診療放射線学科のみの単科校である本校は少人数のため、教員間で授業の進捗状況や方法について日常的に話し合われており、職員も含めて改善についての意見交換をしている。
- (6) 実習前研修として、外部講師を招いて病院での接遇や社会マナーを学ぶ機会を設けている。

### 【課題・改善策】

- ・授業計画通りに進んでいるか教員は授業終了後に内容を記載しているが、その進捗状況は担当教員任せになってしまっている。
- ・勉強会等の参加を推奨しているが、日々の業務に追われて参加が難しくなっている。職場環境が改善すれば、セミナーへの積極的な参加を促していく。

|   | 評価項目                          | 評価 |
|---|-------------------------------|----|
| 1 | 理念・目的に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている | 3  |
| 2 | 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか  | 3  |
| 3 | 授業評価の実施・評価体制は整っているか           | 2  |
| 4 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確か      | 4  |
| 5 | 資格取得に関する指導体制は確立されているか         | 3  |
| 6 | 教員の資質、指導能力向上のための取り組みが行われているか  | 2  |

## 基準 4 学修成果

- (1) 昼間に病院等のアルバイトに従事している者も多く、病院実習の際には患者接遇や病院内での対応について評価されるケースも多い。  
学生の中にはアルバイト先へ就職する者もいるため、勉強の妨げにならない程度に医療機関へのアルバイトを紹介している。
- (2) 入学者全員が国家試験に合格することが開校以来の目標。退学に繋がる理由は担任がヒヤリングし、解決に努めている。退学者の前兆として欠席が多く、担任からの連絡にも応じなくなる。無断欠席や欠席過多の者は担任が保証人と連携し、学習意欲と継続の意思確認を行っている。
- (3) 臨床実習施設へ訪問の際に情報交換を行っているほか、同窓会ネットワークを活用し、就職希望者には決定まで就職支援を行っている。また、卒業後に離職した卒業生に対しても同様の支援をしている。
- (4) 就職活動、病院実習の実習前研修としてマナー研修を行っている。

### 【改善策】

- ・本年度は国家試験を控えた4年生を対面授業とし、直接指導するよう努めたが、学生の中には病院勤務している者も多く来校を遠慮する者もいたため指導が行き届かなかった。  
次年度の4年生は3年間のうち2年間をオンライン中心の授業だったため、より細やかに指導をしていく。
- ・卒業生の状況を把握するには同窓会と連携することが不可欠。退職や引っ越しで連絡が取れなくなるケースも多く、情報をメール配信など届きやすい形に変えられないか検討する。
- ・保証人が形だけになっているケースもあるため、まずは本人がやる気を失わずにいられるかに注力したい。

|   | 評価項目                     | 評価 |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 就職率の向上が図られている            | 3  |
| 2 | 資格取得率の向上が図られている          | 3  |
| 3 | 退学率の軽減が図られている            | 2  |
| 4 | 卒業生・在校生の社会的な活動や評価を把握している | 3  |

## 基準 5 学生支援

- (1) 就職等進路についても、国家資格の取得が大前提であり、取得しない場合は内定が取り消されるため、就職責任者だけでなく担当教員と連携し、成績と就職活動について個別指導をしている。  
卒業後も在校生と同様に就職支援を行っており、転職希望の学生の相談にも応じている。
- (2) 退学者を増やさない対策として、担任が個人面談で現状の問題についてヒヤリングを行い、必要に応じて心理カウンセラーが精神面でのサポートにあたっている。担任教員と本人との面談以外にも状況により保護者・保証人へ連絡しているほか、職員会議において、学生の出席状況等を担任が報告し、職員を含めた全員で注意を払い学生の状況を共有している。
- (3) 現状の学力を把握してもらうため前・後期試験終了後、保証人宛に「定期試験成績表」（科目毎の点数と単位取得の可否）を送付し、学生サポートの協力を仰いでいる。
- (4) 授業が理解出来なかった学生は、担当教員へ個別に質問する他に、専用のメールアドレスへ質問が可

能。また、授業前に講義（補講）を行い学生の学力向上に役立てている。

- (6)同窓会の活動として年1回の同窓会誌（年会費納付者）、適時会報の発行を行っている。  
年1回実施している総会・学会には在校生も参加し、臨床現場の情報や学生時代の勉強法など情報交換・交流の場となっているが、コロナウィルス感染症対策のため近年は中止されている。
- (7)本校入学生は現状社会人が50%強を占めており、勉強に空白のある者も多い。事前学習の課題としてオンラインで行う自主学習 e-ラーニング（1年間利用可）を設け、学習計画表と共に事前学習・自己学習の場を提供している。
- (8)奨学金などの支援を受けている学生も多く、授業料の納入期日までに入金が難しい学生については担任を含めて相談に応じ、柔軟に対応している。

#### 【課題・改善策】

- ・就職活動を行う前提は成績優良者でないといけないため、まずは勉強面において成果を上げる。
- ・授業前の補講は例年1年の基礎科目と4年の国家試験対策のみだったが、他学年でも実施する必要があるため、次年度は開催出来るよう努める。
- ・欠席過多者への連絡がつかない際に保証人へ連絡しているが、保証人とも連絡がつかないケースが増えている。その際は文章にて連絡しているが、その他の有効な手段はないか検討する。

|   | 評価項目                     | 評価 |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 進路指導に関する体制が整備されているか      | 3  |
| 2 | 学生生活に関して相談できる環境は整備されているか | 3  |
| 3 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか       | 3  |
| 4 | 学生の経済的な支援体制はあるか          | 1  |
| 5 | 保護者と適切に連携しているか           | 3  |
| 6 | 卒業生への支援体制はあるか            | 2  |
| 7 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか | 3  |

### 基準 6 教育環境

- (1)設備や清掃等のメンテナンスを定期的実施。機器の管理補修も必要に応じて行われている。
- (2)病院実習は事前に受け入れ先とも十分な協議をし、適切に連携している。1年次には診療放射線技師の業務を見学するべく病院見学を実施しモチベーションの維持向上に努めていたが、コロナウィルス感染症の影響から近年では中止されている。
- (3)「学校法人城西学園 消防計画」を作成し、消防設備等についても、法定点検を実施。学内に設置している自動販売機は緊急時飲料提供自動販売機であり、非常災害時に対応可能。事務職員が防火・防災管理者の資格を取得し、災害時の対応にあたる。
- (4)図書室にはインターネット閲覧可能なパソコンが6台備わっており、午前10時から使用できる。書籍は定期的に見直され、教員がニーズに合わせて選定し購入している。
- (5)病院実習先は平成28年に10施設追加され、実習後に授業を受ける夜間課程の学生にとっての選択肢が増え、効率化が図れた。
- (6)日本医療科学大学と合同で臨床実習連絡会を実施し、各実習施設にはシラバスを配布。その際にカリキュラムの変更や実習指導についての意見交換を行っている。

### 【課題・改善策】

- ・医療の急速な進化と業務拡大に対応している病院実習先とは連携を取り、求められる医療人材や教育について連携を取っていく。
- ・教員のキャリアサポートを推奨しているが、授業以外にも補講や学生指導など教員に時間の余裕がなく、積極的に参加出来ない状況にある。教育の環境と共に職場環境も整えていく必要がある。

|   | 評価項目                               | 評価 |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | 施設・設備は教育上、十分に対応出来るよう整備されているか       | 3  |
| 2 | 学外の実習やインターンシップについて十分な教育体制が整備されているか | 2  |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか                  | 2  |

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

- (1) 社会人を対象とした募集活動は難しい。社会人から入学した学生の中には医療機関で本校の卒業生と働いている人も多いため、知人に勧められる学校であり続ける教育をすることも必要とされる。
- (2) 学校説明会実施後は教職員・学生説明員が改善点などを報告書に記載し、改善に努めている。
- (3) コロナ禍において生活様式も変化しているため、地方の方も参加しやすいようオンライン説明会を開催。特にまん延防止等重点措置が施行された際など、移動に不安がある方から好評を得た。

### 【課題・改善策】

- ・ホームページやラインなどの幅広いターゲットへの広報活動を行うことが、社会人から入学を検討する人に向けて必要になってくるため、より良いものにするべく対策を考える必要がある。
- ・ホームページの不具合が例年発生している。早急な対応が可能な業者を検討する。
- ・入学選考において成績優良者が卒業時に優秀とは限らず、判定基準を設けているが、その判断は難しい。ルール化するのは難しいが、面接での熱意やコミュニケーション能力を含めて判断するよう内規の作成を検討する。

|   | 評価項目                     | 評価 |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 学生募集活動は、適正に行われているか       | 2  |
| 2 | 教育成果の情報提供は正確に伝えられているか    | 3  |
| 3 | 入学選考は、公正かつ公平な基準により行われている | 2  |
| 4 | 学納金は妥当なものとなっている          | 3  |



## 基準 8 財務

- 1)校舎設立時の借入金はあるが、財務基盤は安定している。
- 2)予算は計画に従って妥当に執行されている。年度予算編成にあたり、学納金収入等を見て中期計画を適宜見直して策定している。
- 3) 財務については会計監査、学園で監事による監査も行い適切な対応をしている。
- 4)授業料に関する規定はあるが、学生個人の状況を考慮し、担任とも連携を取っている。  
学納金の未納はない。

### 【課題・改善策】

- ・年々、学費の延納者は増えている。今後は成績優秀者への減免など検討していきたい。
- ・教育活動を行うに必要な備品や教育機器の故障や不備に備えての支出が出来るよう、財政基盤を整えていく。
- ・安定した財務状況には安定した学生数が不可欠。そのためには、入学した学生が合格して卒業するまでしっかりとサポートしていく。

|   | 評価項目                     | 評価 |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか     | 2  |
| 2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 2  |
| 3 | 財務について、会計監査が適正に行われているか   | 3  |
| 4 | 財務情報公開の体制整備はできているか       | 3  |

## 基準 9 法令等の遵守

- 1) 関係法令及び設置基準等を遵守し、関係省庁の指導のもとに適切に学校運営されており、関係省庁からの通知、通達等の内容を学内で共有し、報告等も適切に対応している。
- 2) 個人情報の利用について目的を定め、取り扱いについての同意書を取っている。この取り扱いについては教職員周知し、遵守を心掛けている。資料請求者、学校説明会・体験入学者等の個人情報は目的以外には一切使用していない。
- 3) 学内で使用するパソコンに対して情報流出保護システムを導入している。
- 4) 自己点検・自己評価は年に1度行われているほか、必要に応じて職員会議で問題提起をして対応している。
- 5) SNS 利用に際して責任が伴うことを入学時と実習前に再度指導している。また、入学時には個人情報の利用目的を明確にし、学生へ同意を得ている。

### 【課題・改善策】

- ・これまで問題がなかった卒業アルバムなどが個人情報になるので掲載を拒む学生が出てきた。どこまでが学校として公表できる個人情報になるのか、学生への許可が必要な範囲などを考え直す必要がある。
- ・学校の広報で使用する個人情報は都度承諾を取っているが、出身校や勤務先など個人を特定されるような情報をどこまで開示するか。考えなければならない。

|   | 評価項目                       | 評価 |
|---|----------------------------|----|
| 1 | 法令、設置基準を遵守し、適正な運営がされているか   | 4  |
| 2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4  |
| 3 | 自己点検・自己評価の実施と問題の改善に努めているか  | 3  |
| 4 | 自己点検・自己評価の結果を公開しているか       | 5  |

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

- (1) 城西中学・高等学校の文化祭（しいの木祭）実施時、本校も医療関連の公開講座および種々の医療機器の見学・体験実施を通じて地域住民と交流を図っているが、令和3年度は実施できなかった。
- (2) 本校に届くボランティア募集の案内は掲示しているが、夜間校である本校は昼間に働いている学生が多く、社員としてフルタイムで働く学生もいるため、1週間のスケジュールを見ても活動にあてられる時間自体が取れないのが現状。
- (4) 新入生に現在行っているボランティア活動とやってみたいボランティア活動の調査を実施。学校が主体となって出来ることはないか、常に検討している。

### 【課題・改善策】

- ・昼間に働く学生が多く、ボランティア活動に充てる時間が取れないため実施していない。  
 今後は城西学園として地域のニーズに応えられるボランティア活動には少人数でも活動に参加出来る学生を募る。

|   | 評価項目                         | 評価 |
|---|------------------------------|----|
| 1 | 学生の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 2  |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか       | 2  |
| 3 | 地域活動に積極的な参加をしているか            | 2  |